



「ありがとう！25周年」～日本骨髄バンクは今年12月に設立25周年を迎えます～

日本骨髄バンクの現状（平成28年5月末現在）

	4月	5月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,614	2,575	460,497	668,967
患者登録者数	232	239	3,282	48,063
移植例数	100	86	—	19,483

■5月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	3,153人
20代	70,067人
30代	140,965人
40代	193,582人
50代	52,730人

■5月の20歳未満の登録者 345人

■5月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／857人、献血併行型集団登録会／1,639人、集団登録会／31人
 その他／48人

■5月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数:173件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 熊本県のドナー検索と確認検査を再開

熊本地震の影響を考慮し、熊本県ではドナー検索（新規コーディネート）および確認検査を見合わせていましたが、移動手段となる交通事情が改善し、医療施設もおおむね受け入れが可能であることから、6月7日に「熊本地震に関するコーディネートの対処方針（第3報）」（当法人ホームページに掲載）を発生し、ドナー検索と確認検査を再開しました。通常のコーディネートに戻りましたが、今後も状況変化があればホームページに掲載してまいります。

2 フリーダイヤル（0120-445-445）を6月末に廃止

マンスリーJMDP3月号でお知らせしたとおり、6月末日にフリーダイヤル（0120-445-445）を廃止します。

7月以降にフリーダイヤルにかけた場合、1年間は新しい番号（03-5280-1789）^{ドナーバンク}の案内が流れます。

3 ACジャパン新支援キャンペーン7月から開始

ACジャパン骨髄バンク支援キャンペーンの新CMが完成しました。7月からテレビやラジオのCM、駅や交通機関などでのポスター貼り出しが始まります。

キャッチコピーは「今年、2万人のヒーローが引退します。次のヒーローが必要です」。年齢超過によりドナー登録取消者が急増している骨髄バンクの窮状を伝え、若年層ドナーの登録を呼びかけるテーマとなっています。人の命を救う骨髄バンクのドナーを「匿名のヒーロー」とみなし55歳をむかえ登録取消となるドナー（ヒーロー）の引退と、これからを担う若いドナー（ヒーロー）の必要性を訴えています。若年層ドナーリクルートへの効果が期待されます。

4 新たに 5 市区でドナー助成制度スタート、群馬県では市町村向け説明会開催

この 6 月より新たに 5 市区で、骨髄バンクを通じて造血幹細胞を提供したドナーのための助成制度がスタートしました。全国で導入している市区町村は 172 になります。

4 月から県として助成制度を推進している群馬県で、5 月 20 日に制度導入説明会が開催されました。同様の説明会は過去に埼玉県、京都府、岐阜県でも行われ、多くの市町村が助成制度を導入するきっかけとなりました。群馬県では既に前橋市、榛東村が助成制度を導入しており、今後が期待されます。

助成内容は各自治体によって異なりますので、詳細は直接お問い合わせください（ホームページにお問い合わせ先一覧を掲載しています）。

【新たに導入した自治体】

○水戸市（茨城県） ○小金井市、杉並区（以上東京都） ○長岡京市（京都府） ○大洲市（愛媛県）

5 東京ドームでドナー登録会～G hands プロジェクト～

読売巨人軍の社会貢献活動「G hands プロジェクト」の一環として、東京ドームでのドナー登録会が 6 月 5 日（日）に行われました。

開始直後から多くの方に登録いただき、12 時～14 時という短時間に 30 名の登録がありました。巨人軍のマスコット「ジャビット君」も呼びかけに協力下さいました。オーロラビジョンでの骨髄バンクの映像を見て登録した方もいました。

入場口付近では、6 月 3 日からの 3 日間でジャビットシールと骨髄バンクのリーフレットのセット 9,000 枚を配布しました。

6 日本骨髄バンクニュース第 48 号 7 月に発行

「日本骨髄バンクニュース」第 48 号を 7 月上旬に発行します。難病と闘う 3 歳児と仮面ライダーゴースト主演俳優との心温まる交流に関するインタビューを巻頭ページで取り上げます。特集記事は、「骨髄・末梢血幹細胞の提供レポート」です。術前健診から提供、術後健診までを説明し、入退院前後の注意点やドナー助成制度などを紹介します。骨髄移植を受けて元気になった患者さんの体験談なども掲載する予定です。

当法人は 2014 年度決算で 1 億円以上の経常赤字を計上し、現在経費削減策に取り組んでいます。今号は寄付者の方を除いて郵送でのお届けはありませんが、当法人ホームページでご覧いただけます。

(HOME > 日本骨髄バンクについて > パブリシティ > 骨髄バンクニュース)

皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力お願い申し上げます。

7 骨髄バンク設立 25 周年記念大会を 9 月 17 日（土）に開催

「骨髄バンク推進全国大会 2016」を、9 月 17 日（土）12 時半～16 時半、慶應義塾大学日吉キャンパス藤原洋記念ホール（神奈川県）で開催します。今年は骨髄バンク設立 25 周年にあたり、京都大学 iPS 細胞研究所の中畑龍俊副所長による講演や、「造血幹細胞移植の現場から」に関する講演などを予定しています。骨髄バンクと iPS 細胞研究所は研究協力の関係にあり、骨髄バンクドナーが iPS 細胞ストックに協力していることから講演が実現しました。また、日本骨髄バンクでの骨髄移植第 1 例が 1993 年 1 月に実施されて以来、本年度中に 2 万例に到達する見込みで、「2 万人のありがとう」をテーマにした企画も準備しています。多くの方々のご参加をお待ちしています。

8 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
通常評議員会	公開・一部非公開	6月28日（火）14時～15時半 廣瀬第2ビル地下会議室
臨時理事会	公開・一部非公開	6月28日（火）16時～17時 廣瀬第2ビル地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	7月17日（日）12時半～15時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 骨髄提供後、頸椎椎間板ヘルニアと診断された事例＜採取責任医師の方へ＞

骨髄提供後、第 6/7 頸椎椎間板ヘルニアと診断され、その後手術適応となり後方除圧術を施行した事例が報告されました。本症例に関して、再発防止の観点から情報提供します。詳細は別紙をご確認ください。

別紙：骨髄提供後、第 6/7 頸椎椎間板ヘルニアと診断された事例について

10 第 15 回コーディネーター養成研修会の報告

コーディネーターが不足していた全国の地区において、昨年 8 月よりコーディネーター養成研修会を実施しました。

本年 5 月までの研修期間を経て、コーディネーター認定・委嘱審査会での審査結果をふまえ、北海道、東北、関東、近畿、中四国、九州の各地区において計 24 名の認定・委嘱が決定しました。研修期間中の調整医師・採取施設の先生方およびコーディネーターの皆さまのご協力にあらためて御礼申し上げます。順次活動を開始しますので、今後とも引き続きご指導いただきますようお願いします。

11 ドナー選定時の移植希望日程の提示について<移植施設の医師の方へ>

すでにステータスレポート送付時にご案内しておりますが、ドナー選定時に本来希望する移植日程を「ドナー選定通知書」にご記入ください。急に採取施設に空きが出た場合など、より早い日程を提示できる可能性があります（すでに選定されている患者さんには、追加連絡不要です。）。

12 2016 年全国調査 本登録データ提出のお願い<移植施設の方へ>

「2016 年全国調査 本登録データ提出のお願い」が 6 月 10 日に日本造血細胞移植データセンター（以下、JDCHCT）／日本造血細胞移植学会（以下、JSHCT）から発出されました。提出期限は 9 月 30 日（金）ですのでご対応のほど、よろしくお願いします。

詳細は JDCHCT ホームページをご確認ください。[http://www. jdchct. or. jp/](http://www.jdchct.or.jp/)

13 今後の移植施設および採取施設の認定について<医師の方へ>

これまで当法人が行っていた施設認定について、今後の移植施設認定は JSHCT が行い、採取施設認定には JSHCT と当法人が共同で行います。新規の認定申請時は新基準に基づいて手続きを行います。また、既存の認定施設につきましても 2018 年 3 月までに新基準による申請が必要です。

今後の認定手続きについてポイントとなる事項や移行期間の注意事項を当法人ホームページに掲載していますので、必ずお目通しくださいますようお願いいたします。

詳細は当法人ホームページをご確認ください。

(HOME > 医師の方へ > 患者主治医の方へ > 認定施設の基準)

14 骨髄・末梢血幹細胞・ドナーリンパ球 運搬時の留意点<移植施設の方へ>

骨髄・末梢血幹細胞・ドナーリンパ球の運搬に関わる留意点をまとめました。当法人ホームページをご参照ください。

(HOME > 医師の方へ > 患者主治医の方へ > 骨髄・末梢血幹細胞・ドナーリンパ球 運搬時の留意点)

15 フリーダイヤル終了に伴うドナーあて終了通知の変更

広報用フリーダイヤル (0120-445-445) が 6 月末で終了することに伴い、次の帳票に表示している電話番号を変更します。

変更日時 : 2016 年 6 月 15 日 出力分から

変更内容 : (電話番号) 0120-445-445 (変更前) ⇒ 03-5280-1789 (変更後)

変更帳票 : ○コーディネート終了のお知らせ (ドナー理由/患者理由)

○今後のドナー登録について